

今後の台風期に備えて、平成29年7月九州北部豪雨を踏まえたハード・ソフトの対応を情報共有 ～遠賀川圏域大規模氾濫減災協議会（情報共有会議）を開催～

- 今後の台風期に備えて、平成29年7月九州北部豪雨の出水状況を振り返り、ハード・ソフトの対応等について情報共有するため、減災協議会（情報共有会議）を開催。（H29.9.15）
- 出水の状況をはじめ、溢水に伴う浸水被害が生じた添田町からの報告、今回の出水を踏まえたハード・ソフトの対応について情報共有。

■日 時：平成29年9月15日（金）

■場 所：遠賀川地域防災施設（遠賀川水辺館）

■参加組織：

（21市町村）

北九州市、直方市、飯塚市、田川市、中間市、宮若市、嘉麻市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、桂川町、香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、福智町、赤村

（国・県）

福岡県（県庁、直方県土整備事務所・北九州県土整備事務所・田川県土整備事務所・飯塚県土整備事務所）
福岡管区气象台
九州地方整備局遠賀川河川事務所

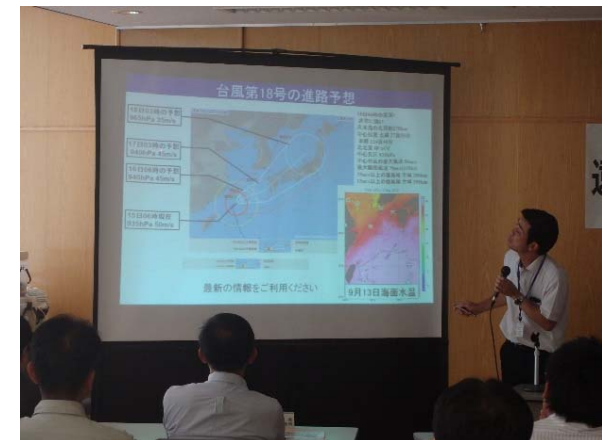
会議の実施状況



遠賀川河川事務所から情報提供等



添田町からの報告



福岡管区气象台からの情報提供

議事内容

- ◆ホットラインにより連携を密にすることで、避難勧告・指示等をはやめに発令することができた。
- ◆出水時の現場状況の把握を的確に行うためには、水位観測所の情報に加え、河川カメラや簡易水位計の情報が有効だった。
- ◆气象台からの情報や重要水防箇所等の既存の防災情報をさらに活用し、関係機関が連携して確実な情報共有を行うことが必要。

等